

彦根地方気象台

Hikone Local Meteorological Observatory



施設名称	彦根地方気象台
所在地	滋賀県彦根市城町
敷地面積	2,754㎡
既存庁舎	鉄筋コンクリート造3階建+PH階 建築面積 187.67㎡ 延べ床面積 432.86㎡
増築庁舎	鉄筋コンクリート造2階建 建築面積 401.43㎡ 延べ床面積 595.33㎡
設計監修	国土交通省 近畿地方整備局 営繕部 協同組合 福井県建築設計監理協会

■リノベーション

現庁舎は1932年（昭和7年）に竣工した、鉄筋コンクリート造の洋風建築です。

1階から塔屋まで螺旋状に上る階段、さらに半円アーチの窓、当時の玄関扉や、門柱等には様々な時代的様式の装飾が施されており内装には蛇腹漆喰による装飾がふんだんに施された、歴史的雰囲気を残した貴重な文化的な建物となっている。

この建物を、より長く使うため、耐震性や安全性を向上させるため、社会情勢の変化に伴った建築機能の向上のため、冷暖房に費やすエネルギーの節約などのために、増築工事を伴ったリノベーションを行います。

■意匠計画

●既存庁舎

昭和7年の竣工以来、気象台機能を損なうよう、たび重なる修繕・増築等が行われてきました。今回のリノベーション改修では、以前の改修工事写真や改修図面を基に、漆喰壁、蛇腹漆喰、木造階段、開口部のデザインの保存・再現に努めています。

1階は資料室、2階は台長室・総務課事務室を中心に再構成します。

台長室・総務課事務室等の執務スペースについては、OAフロアを設置し床面の美観をそ損なわずに情報化に対応します。



既存庁舎全景



漆喰壁と蛇腹



木造階段



特徴的な開口部

●増築庁舎

現業室、防災業務課事務室を中心とした執務空間をまとめた2階建部分と会議室、電気室をまとめた平屋部分にて構成します。

外観は、現庁舎（竣工当時）のディテールを踏襲し、イメージを継承しています。

現庁舎と増築棟の連絡部分に位置するエントランス部分には、コンクリート打放し仕上げとガラスを多用した、現代的な表現にて両者を接続します。2階建部分については、彦根市景観条例に則し周辺との調和を図ります。

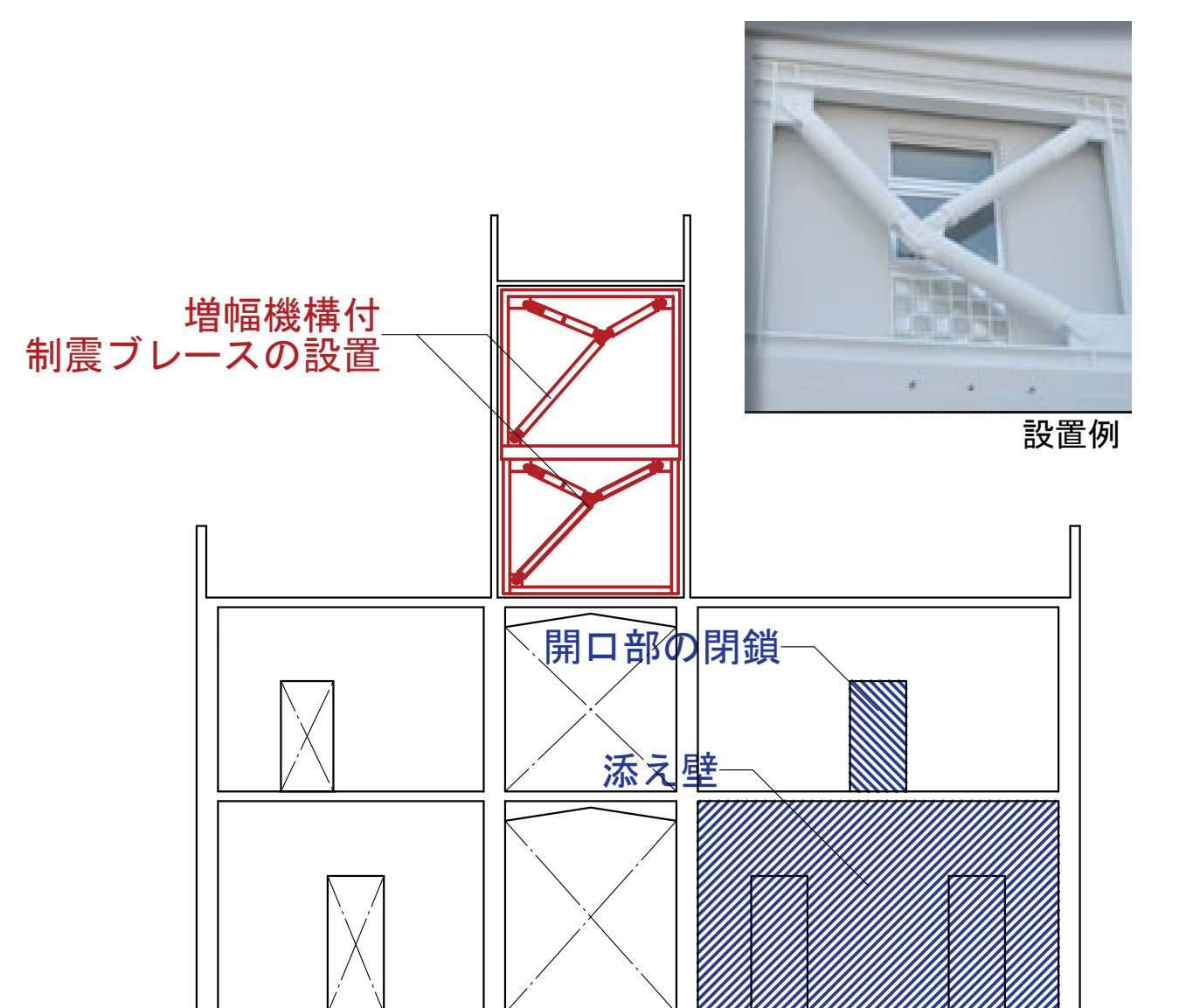
■構造計画

●既存庁舎

壁式鉄筋コンクリート造である既存棟は、1・2階においては耐震壁の設置等の強度型の補強により、構造耐震指標GIS ≥ 1.0 （重要係数 $I = 1.25$ ）を両方向共に満たすものとしています。

3・4階（PH階）部では制振ブレース補強（この原理の応用により、地震による建物の揺れを2~3倍に増幅して、効率的にダンパーにより吸収）によりレベル2の地震動（50kine）に対し強度の向上とともに靱性性能を向上させ、層の塑性率2.0以下に抑えています。

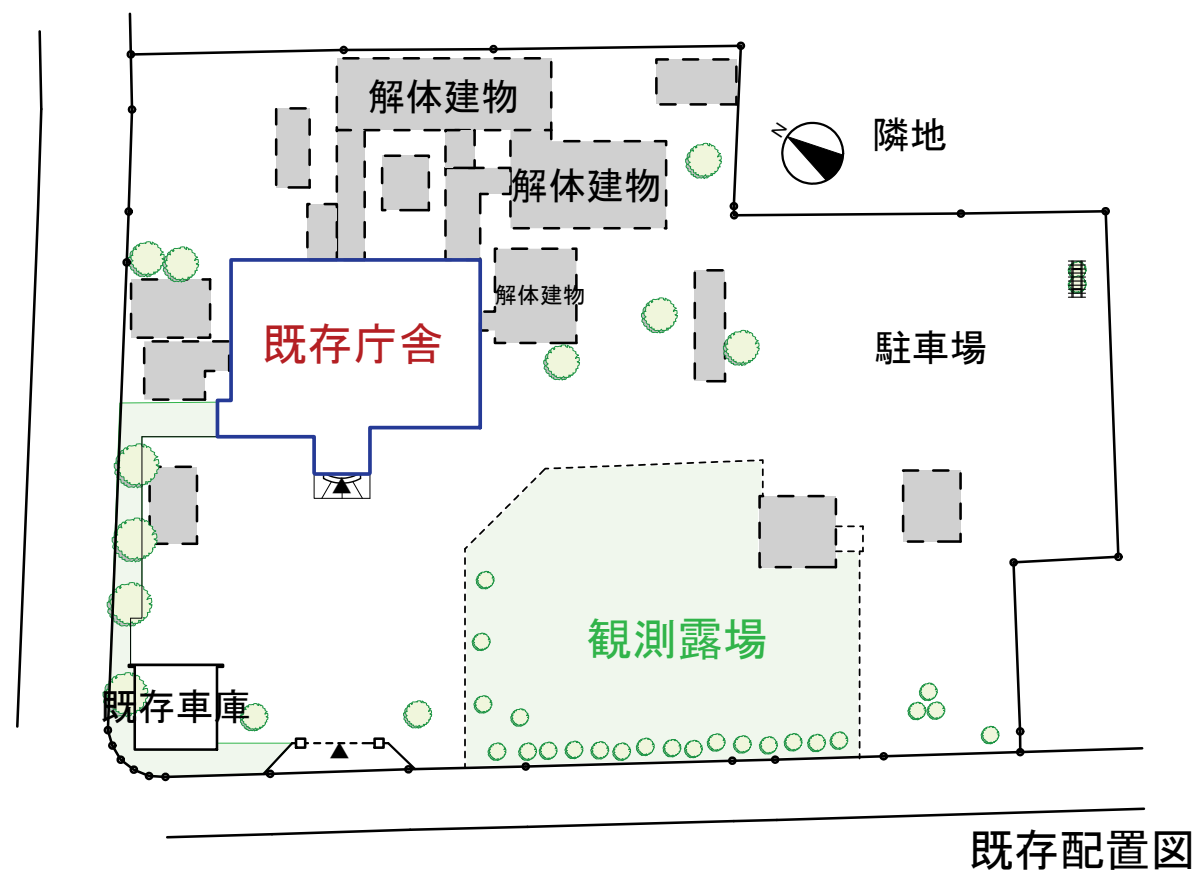
また、これらの補強に際しては外部開口等の閉鎖など外観に影響を与えるような補強部材の設置は避けています。



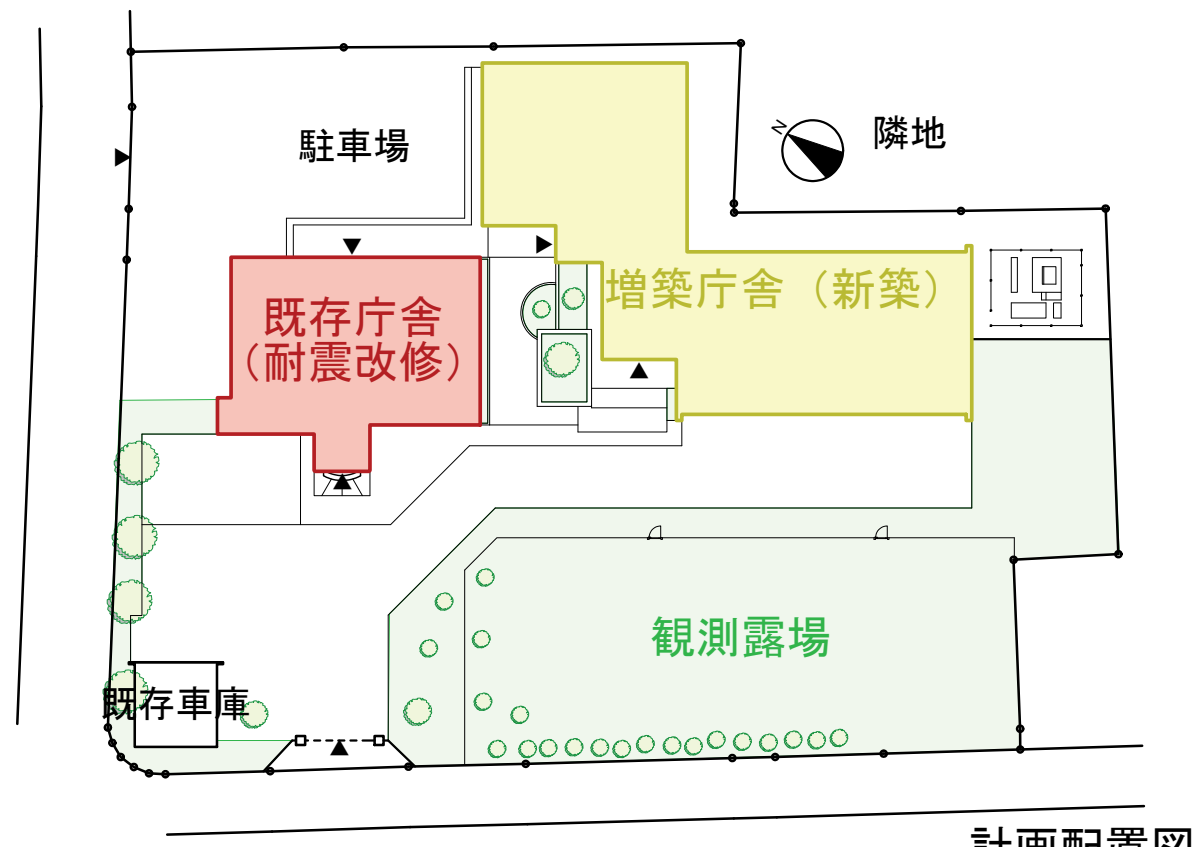
既存庁舎補強要領

●増築庁舎

増築棟は鉄筋コンクリート造による耐震壁付きラーメン構造とします。柱・壁量を十分に確保し、設計ルート1を採用します。（耐震安全性の分類はⅡ類とする）



既存配置図



計画配置図